

中原はちのすけクラブ【東京都三鷹市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

●三鷹市地域子どもクラブ事業として、学校を拠点とした子どもたちの安全で安心な居場所、遊び場づくりに取り組んでいる。子どもたちの思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力など、心の豊かさは学校生活だけではなく、家族や同じ地域で暮らす多くの人々と触れあいながら得られるものと考えている。また、子どもとのふれあいを通して、大人たちも交流を深めることにより、地域教育力向上や地域コミュニティづくりにつながる結びつきを大切にしている。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	237日/年間	
参加人数	50人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

●中原小学校の校庭、体育館、図書館、図工室、コンピュータ室、理科室、家庭科室など

教室の開催日

●月、火、木、金曜日 16:00～17:00 ●水曜日 15:00～17:00

●土曜日 9:30～12:00、13:30～15:30

参加対象者

●中原小学校児童(みんなDEパソコンは近隣の東台小学校地域子どもクラブと共催のため、東台小学校児童も参加)

申込み手続きなど

- 4月にクラブ紹介と申込み用紙を配布し、校庭開放事業は児童全員が登録をする。その他の開催事業へ参加を希望する児童は、事業ごとに参加申し込みをして登録をする。
- 単発のイベントはその都度案内を出し、希望者は申し込む。 ●内容によって実費又は一部の負担あり。
- 未就学児が保護者同伴で参加できる事業もある。



泳げっかいこのぼり
手形で作ったこのぼり、どれかわかる？

活動内容

- 開閉事業として校庭開放、定期的なクラブ活動として4つの事業、単発のイベントとして3～6つ(21年度は6つ)の事業を行っている。年に1回学童保育所と共催事業を実施している。
- 校庭開放:平日の放課後に自由遊びのできる場所として校庭を開放している。一輪車、竹馬、サッカーボール、カラーボール、プラスチックバット、ホームベース、縄跳び等の遊具を用意している。
- 定期的なクラブ活動:ソフトバレーボールクラブ(5～6年生)週2回、みんなDEパソコン(3～6年生)月1回、言葉のアニメーション(1～6年生)学期に2回、中原小合唱団(3～6年生)毎朝と放課後週2回
- 体験広場(単発のイベント):21年度開催例…中原子どもまつり(学童共催)、こいのぼり作り、万華鏡作り、科学教室(天体望遠鏡作り)、ペットボトルタワー作り、発泡入浴剤作り

平成21年度 中原はちのすけクラブ 年間予定表							
日	月	火	水	木	金	土	
	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 16:00～17:00 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 16:00～17:00 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	言葉のアニメーション 各学期2回 9:30～12:00 対象:1～6年生	みんなDEパソコン 第2土曜日 10:00～12:00 13:30～15:30 対象:3～6年生
		ソフトバレーボール 16:00～17:00 対象:5・6年生	*体験広場 万華鏡、発泡入浴剤作り、 こいのぼり作り、 中原子どもまつり	ソフトバレーボール 16:00～17:00 対象:5・6年生			
	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 15:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	*体験広場 ペットボトルタワー作り、 科学教室(天体望遠鏡作り)	



科学教室
牛乳パック2本とレンズ3枚で天体望遠鏡を作ったよ。夜空の星も大きく見えて感動!

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 実施委員会を各事業の責任者及びPTAとの連携を図るためにPTAの役員1人を加え構成しており、現在19人の委員で企画運営をしている。代表とクラブコーディネーター各1人は地域の方、他は保護者と卒業生の保護者。各事業の安全管理者の募集を、保護者向けに4月に案内状を配布し行う。単発のイベントは、安全管理者の必要人数に応じ、学校と地域団体を通じて行う。
- 配置人数 1回の活動に対して… 校庭開放2人(登録20人)、ソフトバレーボールクラブ10人、みんなDEパソコン6人(登録15人)、言葉のアニメーション3人、中原小合唱団2人(参加児童保護者約40人)、単発のイベント3～10人。
- 特別な技術の講師として大学客員教授、中学校副校長が参加。補助講師として企業ボランティアが参加。アドバイザーとして小学校教員が参加。ボランティアとして中学生が参加。

事業を実施して

- 第一の目的は、児童の安全安心な居場所作りである。平日の放課後に、児童が安心して遊べる環境を確保することが最も重要と考えている。
- その上で、休日も含めたクラブ活動を通じて、様々な本物に触れる体験をして欲しいと願い企画している。また、学校を拠点とすることで、身近な友達と一緒に活動でき、たくさんの共通の思い出を培いながら成長して欲しいと願っている。
- たくさんの保護者、地域、学校、企業の方々参加協力に支えられ、クラブを継続できている。「子どもたちのよき成長の為に」という同じ思いを繋がりにして、大人の様々なネットワークの広がりを感じる。子どもたちが愛情深い地域環境で過ごせることにより、自分や他人や物を大事に思う心の優しさや豊かさが生まれ、人と協力して行う楽しさや個の力以上のものができる素晴らしいさを味わいながら、参加する意欲や前向きさが生まれているのを感じる。活動を通して子どもの生きる力が育まれることを願っている。